

ふるさと 水

食べる 木

アート 金

得する 土

旅する 日

ぐるっと首都圏

母校を
たずねる

夢へ背中を押してくれた

東京交響楽団首席オーボエ奏者 荒木奏美さん＝2011年度卒

茨城県立日立一高

2

東京芸術大を首席で卒業した荒木奏美さん(24)＝2011年度卒＝は、名門の東京交響楽団の首席オーボエ奏者です。大学在学中に同楽団のオーディションに合格し、将来を嘱望されています。茨城県立日立一高の音楽室から緑豊かな神峰山の風景を眺めながら、練習に没頭していた日々を懐かしみます。

【佐藤則夫】

オーボエとの出会いは茨城県の東海村立丹石川小の吹奏楽部からです。入学式や卒業式で上級生が演奏する姿に憧れ、迷わず入部しました。クラリネットを1年間担当し、9歳からオーボエを始めました。中学校でも吹奏楽部に入り、オーボエ奏者を目指して月1、2回、東京で個人レッスンを受け、演奏技術を磨きました。東京芸術大の付属高に進学するか悩み、このまま音楽の世界しか知らずに将来を決めていいのかと中学生ながらに思いました。

2歳上のいことが日立一高に在学していました。い

ところから学校生活の様子を聞き、地元で勉強をしなが

ら、音楽のほかに好きなものが見つかるかもしれないと考えるようになり、日立一高に進学しました。

卒業後も毎年会っている

恩師がいます。高校2、3

年の担任だった大図(卓也)

先生で、進路指導でお世話

になりました。2年生で東

京芸大に進学先を絞ったの

ですが、日立一高から進学

した前例がありません、親

身に相談に乗ってくれまし

た。両親と受験先をじっくり

話し合えるよう、三者面

談の順番をクラスで最後に

してくれました。

大図先生は、生徒が夢を

持つことに寛容でした。進

学先を東京芸大一本に絞れ

ないでいると「2浪ぐらい

すればいいんじゃない」と

背中を押してくれました。

学校とすれば、現役で合格

してくれる生徒が多い方が

いいはずなのに、私の思い

を理解してくれていたのだ

と思いました。

オーボエコンクールの受

賞を報告したら、大図先生

から「淡々とやってきたこ

とが結果につながるんだ」

と言葉をかけてもらい、そ

れまでの努力を分かってく

れていました。思春期の私

が音楽や付き合いなど、い

ま思えば、ささいなこと

で悩んでいた時も、心を和ら

げてくれました。

吹奏楽部は受験に備える

ため、3年生の5月にあつ

た定期演奏会を最後に引退

しました。夏の茨城県の吹

奏楽コンクールに出場でき

なかったのは心残りです

が、みんなで一つの音楽を

作り上げるために頑張った

ことは誇れる思い出です。

校舎の最上階(4階)に

ある音楽室からは、遠くに

神峰山や、かみねレジャー

ランドの観覧車が眺望でき

ます。目の前に緑が広がる

風景を見ながら、神峰山に

音が届くようなイメージを

描いて伸び伸びとオーボエ

の演奏をしていました。

卒業して6年たった今も

オーボエの練習をしなが

ら、その風景を思い出すこ

とがあります。イメージし

たような音が出せずに、音

をもう少し遠くに届けたい

と思うとき、静かに目を閉

じます。そうすると音楽室

から見た風景が浮かんでく

るのです。

代名詞 今も引き継がれ

クール・軽井沢で日本人初の1位(大賞)に輝く。17年3月、音楽家の登竜門である出光音楽賞を受賞。今年2月、実家がある同県東海村のPR大使に就任した。

あらき・かなみ

1993年、茨城県日立市生まれ。現在、東京芸術大大学院音楽研究科3年。大学在学中の2015年、東京交響楽団に入団。同年10月、第11回国際オーボエコン

日立一高は1927年4月、旧制日立中学校として開校した。校舎が建設中だったため、日立第五尋常高等小学校(現日立市立仲町小学校)の校舎の一部を借り、当時の教職員は6人、生徒は104人だったという。

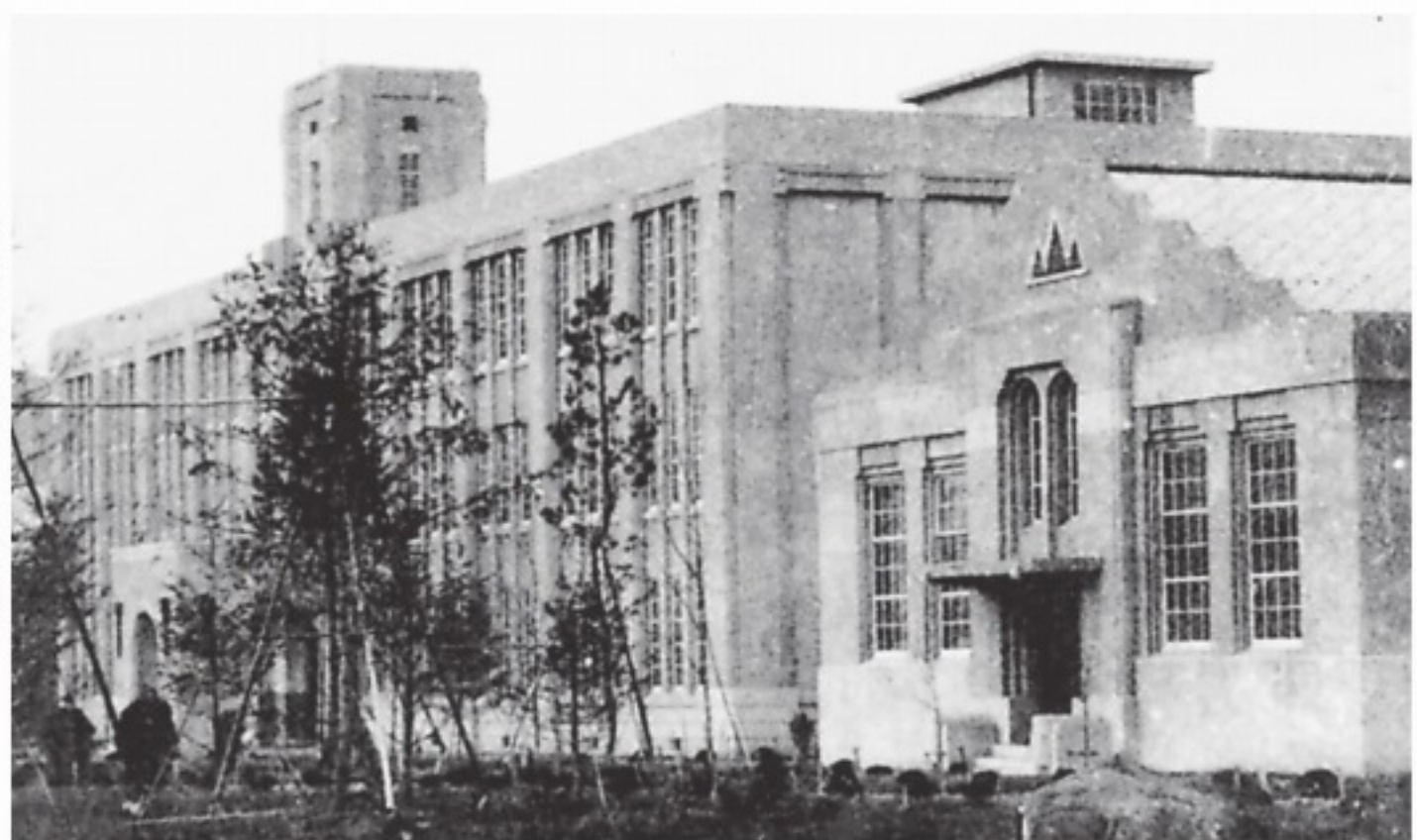
3カ月後の7月に3階建ての校舎が完成し、当時珍しい鉄筋コンクリート造りだった。威風堂々とした外観の美しさから「白聖の殿堂」と称されたという。

太平洋戦争末期の45年、軍需品の生産拠点だった茨城県日立市は、2度の大規模な空襲にさらされた。米軍のB29爆撃機127機が計約1万4000発の焼夷弾を落とした2度目の空襲で、「白聖の殿堂」の内部は猛火に包まれ焼けた。だれた。

終戦翌年の46年7月、校舎は外装などを修復して以前の美しさを取り戻し、授業が再開された。完成から半世紀が過ぎた79年、校舎の建て替えに伴い、取り壊された。

それでも、「白聖」の言葉は日立一高の代名詞ともなり、文化祭は「白聖

威風堂々「白聖の殿堂」



祭▽同窓会は「白聖会」▽野球部は「白聖の球児」——などと呼ばれている。歴史は今も引き継がれ、2027年の創立100周年に向けて歩みを進めている。

次回22日に掲載

完成時は珍しかった鉄筋コンクリート造りの校舎
日立市郷土博物館提供